

平成28年度 福井県立羽水高等学校 学校関係者評価書

(問)・ 学校評価書の成果と課題は適切でしょうか。

- ・ 成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策は適切でしょうか。
- ・ その他

(意見を聞いた方) ・ 育成会会長 (1名)、副会長 (5名)

(意見) 教育課程・学習指導

- ・ 校内の学習指導においては目標数値を大きく上回っており、保護者からも高い評価を得ているが、更に厳しく質の高い内容にしてほしい。
- ・ 家庭学習について、1、2年生・保護者ともに低い数値になっている。家庭学習の重要性をいかに理解させ学習させるかといった取り組みが重要であり、保護者の不安を払拭してほしい。

(意見) 生徒指導

- ・ 学校行事や部活動に対する意欲・関心・取り組みで活性化が図られている。登校・下校時のマナーの徹底とともに、継続的な指導をお願いしたい。
- ・ 真っ直ぐな笑顔を向けきちんとあいさつをしてくれる生徒が多いと感じている。
- ・ スマートフォン等の情報機器の使用について、家庭と連携し、時間のけじめをつけるような指導を継続してほしい。

(意見) 進路指導

- ・ キャリア教育と進路学習が充実している。しかし1・2年では進路意識が低い。早い段階から適切な入試情報の提供や面談指導をさらに充実させ、自由に進路について話し合う時間を増やすなどして、進路実現のための学習方法に踏み込んだ指導を期待する。
- ・ 国公立大学を重視した指導と生徒・保護者のニーズ等について研究を重ねてほしい。

(意見) 保健衛生指導

- ・ 学校内で連携を取りながら、個々の生徒に応じた保健指導が適切に行われており、生徒や保護者からの先生に対する信頼度は高い。
- ・ 環境美化の意識は高く、清掃やごみの分別にも積極的に取り組んでいる。人として大事なことなのでしっかり指導してほしい。
- ・ カウンセラーの更なる充実をお願いしたい。

(意見) 図書指導

- ・ 朝読書については教職員・生徒とも意識が高く、すばらしい。図書の貸し出し数も昨年同程度で定着したようである。県立図書館との連携も評価できる。
- ・ 教職員の「この本を読ませたい」といった思いが生徒に届くよう引き続き丁寧な指導をお願いしたい。

- ・活字ばなれが今後も進んでいくと思われる。自己啓発を高める本や新聞を読む習慣がつくよう、家庭・義務教育段階・県や市と連携し、引き続き指導を継続していただきたい。

(意見) 外部との連携

- ・中学校訪問や学校説明会を通じて家庭や地域への広報等が図られているが、強歩大会・学校祭等の学校行事への保護者の気軽な参加を高める事は重要である。
- ・育成会活動は高い評価を得ているが、同窓生の母校訪問、講演会等の企画や地域行事への参加等細かい実施をこれからも行う必要がある。
- ・

(意見) 人権教育の推進

- ・生徒一人ひとりを大切に丁寧な教育活動が行われており、保護者・生徒の評価も高い。
- ・スマートフォンを含む、インターネットに視点を置いた人権教育を継続してほしい。

全体 (総括)

- ・羽水高校は、バランスのとれたすばらしい学校だと思う。団結力を持ち、生徒・保護者・教員ともに頑張る理想の学校にしていきたい。
- ・熱心な指導が生徒に十分伝わっていると感じる。保護者が、子どもを羽水高校に進学させたいと思うような学校になるよう、更に頑張してほしい。
- ・学校評価項目の取り組みは具体的に設定されており、目標指数を上回っているものが多数ある。またアンケート結果からおおむね評価できる結果が得られていると思われる。

学校関係者評価を踏まえた今後について (学校)

- ・保護者が本校の教職員の取組みを評価してくださっていることは大変心強い。
- ・ご指摘があった問題点は謙虚に受け止め、今後も保護者のご協力を得ながら、改善していきたい。